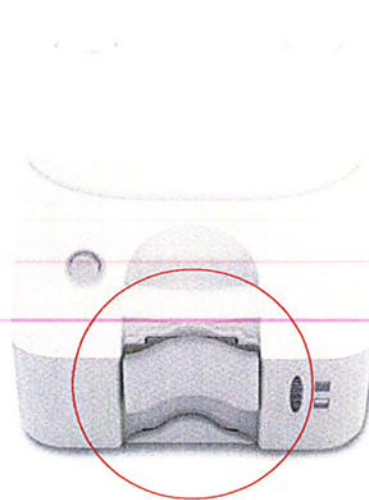


取扱い説明書

使用上の注意

※ フラッシュハンドル操作時の注意点

- ハンドルを引く時はゆっくりと水平に引く様にして下さい。
- トイレを運んだり、動かしたりする時はフラッシュハンドルを引いた状態で取手を持つと自重に依り、取手が外れたり破損の可能性が有るので運搬時はフラッシュハンドルを収納した状態で実地して下さい。
- トイレ運搬時はフラッシュハンドルを持たないで下さい。
注:フラッシュハンドルが外れて落下、破損する場合があります
- 上記理由に依り、本体及びハンドルが破損した場合に関しては弊社は責任を持ちかねます。



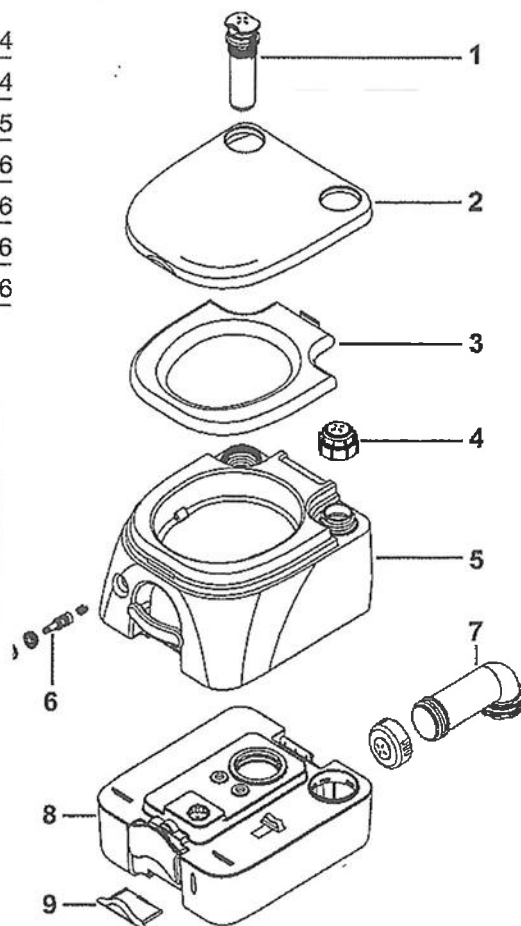
※ 固定ハンドルは海外オプション品ですので、日本国内でのお取扱いは御座いません。

 **Dometic®**

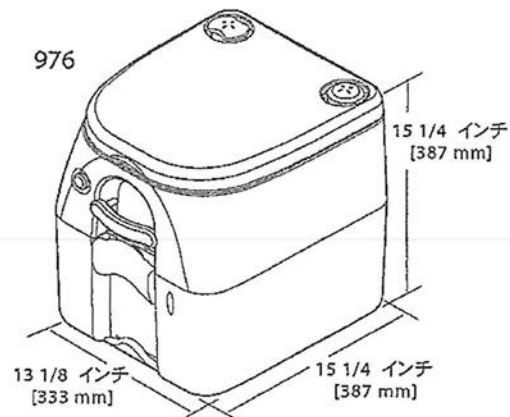
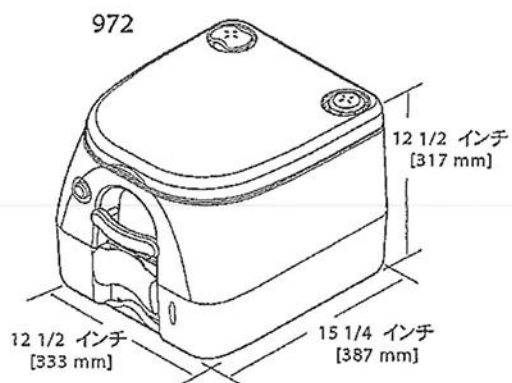
部品	44
寸法	44
操作方法	45
洗浄および保管方法	46
詳細情報	46
保証およびカスタマーサービス	46
製造物責任	46

部品

1	エアポンプ
2	便座カバー
3	便座
4	ウォーターキャップ
5	便槽アセンブリ
6	フラッシュボタン
7	排出口
8	汚物タンク - 2.6 gal./9.8 L (972) 汚物タンク - 5.0 gal./18.9 L (976)
9	固定ハンドル (オプションの取り付けブラケットと共に使用) ※日本国内でオプションの取り扱いはありません。



寸法

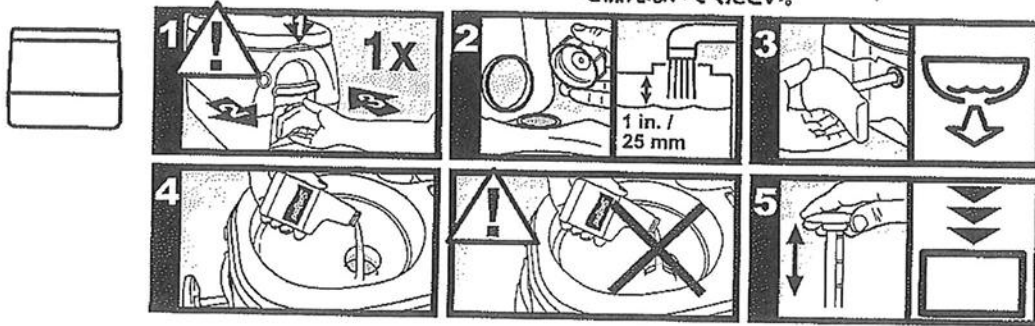


各寸法に±3/8-インチ (10mm) の差異が生じる場合があります。

操作方法

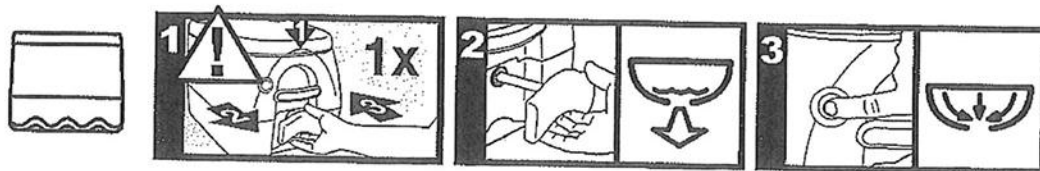
トイレの使用準備

1.  注意! 便器のふたを閉めたまま、フラッシュハンドルを引いてスライドバルブを開いてから、ハンドルを押してバルブを閉じてください。これにより、気温や高度の変化により下部の汚物タンクに生じた空気圧を解放します。
2. ウォーターキャップを外して、上部タンクの注水口から約1インチ (25 mm) 下のところまで給水します。キャップを締めます。
3. フラッシュハンドルを引いてスライドバルブを開きます。
4. 防臭剤を下側の汚物タンクに直接注入してから、スライドバルブを閉じます。
 注意! 必ずスライドバルブを開いた状態で、防臭剤を注入してください。
5. エアポンプを約 15 回、またはウォーターキャップ上の安全弁から空気が出るまで、上下に動かしてください。
 注意! 安全弁を覆って上部タンクに過度の圧力を加えないでください。上部タンクが下部タンクから外れているときは、上部タンクに圧力を加えないでください。



トイレの使用

1.  注意! ご使用前にはその都度、便器のふたを閉めたまま、フラッシュハンドルを引いてスライドバルブを開いてから、ハンドルを押してバルブを閉じてください。これにより、気温や高度の変化により下部の汚物タンクに生じた空気圧を解放します。
2. フラッシュハンドルを引いて下部タンクに汚物を流します。
3. フラッシュボタンを押して便槽を洗浄します。フラッシュハンドルを押してスライドバルブを閉じます。



汚物タンクを空にする

1. タンクのレベル表示が「満杯」になったら、下部タンクを空にします。
2. 後部の留め具を引き上げて、上部タンクを下部タンクから外します。下部タンクを指定の廃棄物処理場 (または通常のトイレ) に運びます。
3. 排出口をタンクと反対の位置に回転させて、汚物タンク上部の通気穴を開きます。タンク内の汚物を排出します。
4. 水が使える場合は、下部タンクを洗浄してからポータブルトイレに再度取り付けます。



洗浄および保管方法

表面を損なわない低刺激性洗剤で洗浄してください。石油系の家庭用洗剤は使用しないでください。
ポータブルトイレは乾燥した清潔な場所に保管してください。

詳細情報

このトイレの詳細およびその他の Dometic 社の製品については、www.dometic.com をご覧ください。

保証およびカスタマーサービス

保証協定は、EC 指令 44/1999/CE、および関係国に適用可能な通常の必要条件に基づきます。保証またはその他のサービスについては、Dometic 社のサービス部門にお問い合わせください。不適切な使用に起因するいかなる損害についても、保証は適用されません。

製品を改造したり、Dometic 社製以外の部品を使用した場合には、保証は適用されません。また、取扱説明書に示されている設置および操作方法が順守されていない場合も、保証は適用されず、製品責任も維持されないものとします。

製造物責任

Dometic 社の製造物責任には、以下の項目に起因する損害は含まれません。誤った操作。装置の不適切な改造または介入。装置本体に影響を与える可能性のある環境からの、または、装置または人体の周辺からの直接生じる悪影響。

© 登録済み、™ Dometic Corporation の商標
© Dometic Corporation
600345650 7/07